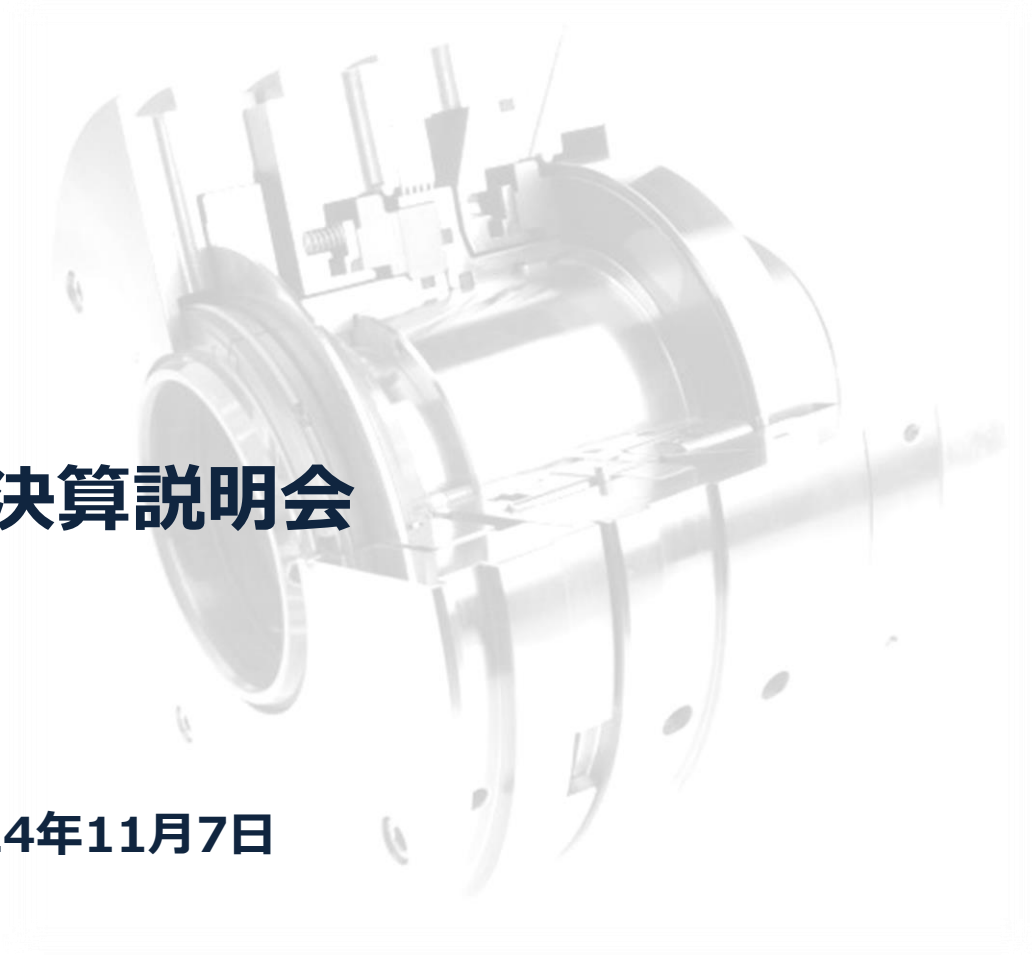


イーグル工業株式会社 2025年3月期 | 第2四半期決算説明会

2024年11月7日



1. 25年3月期第2四半期決算概要と通期業績予想
2. 設備投資・株主還元・ESGの取り組み
3. 各セグメントの状況・今後の事業展開

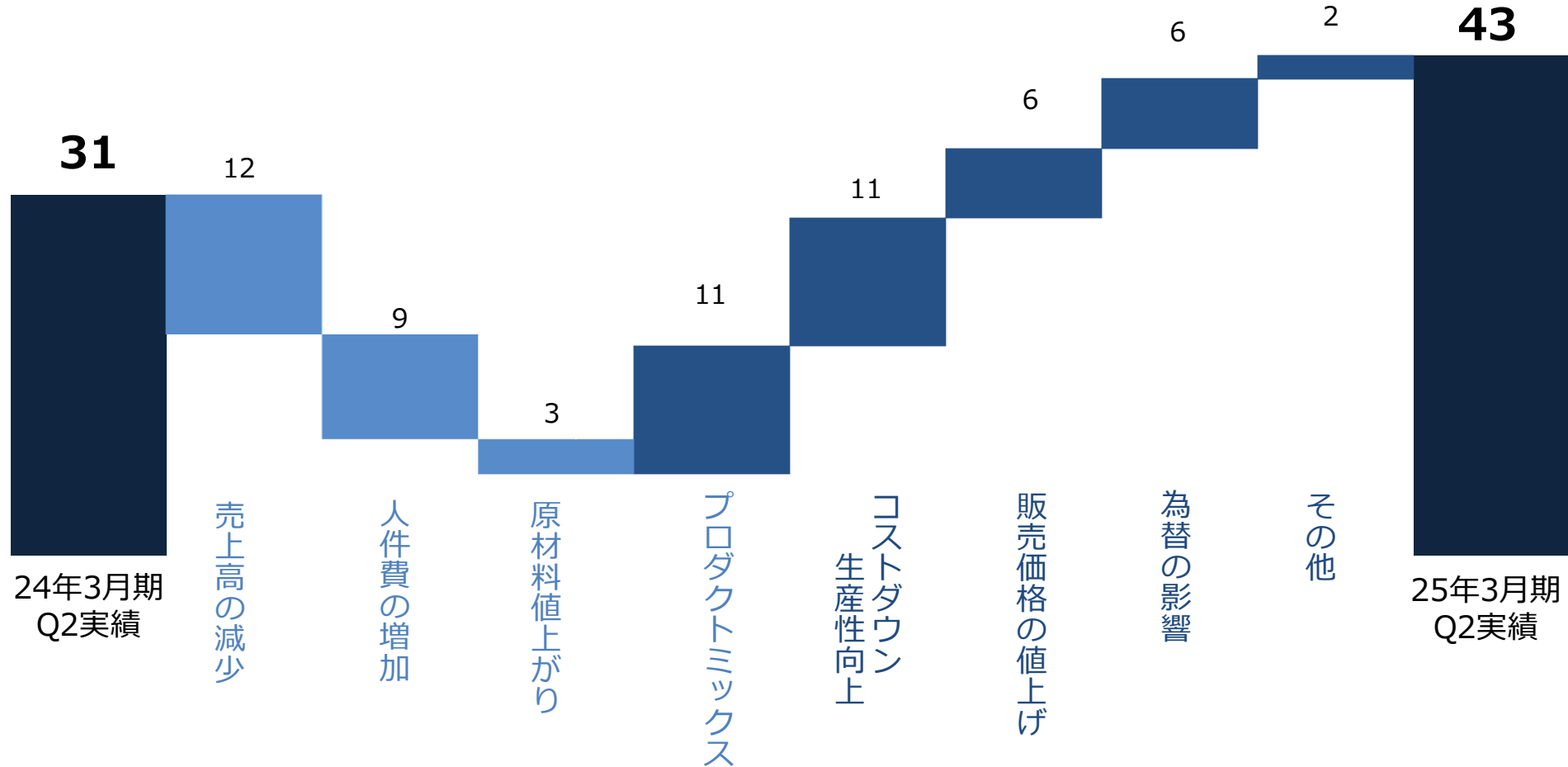
単位：億円

	24年3月期 第2四半期実績	25年3月期 第2四半期実績	前年同期対比	
売上高	821	830	8	101%
営業利益	31	43	12	138%
経常利益	69	58	▲12	83%
親会社純利益	43	27	▲16	63%

（平均実勢為替レート）

1 ドル	141.1円	152.8円
1 ユーロ	153.5円	166.1円

単位：億円



単位：億円

		24年3月期 Q2累計実績	25年3月期 Q2累計実績	増減	前年同期 対比
自動車・建設機械	売上高	443	444	1	100%
	営業利益	▲1	7	8	—
一般産業機械	売上高	182	202	20	111%
	営業利益	8	27	18	316%
半導体	売上高	85	59	▲26	69%
	営業利益	5	▲21	▲26	—
船用	売上高	73	85	12	117%
	営業利益	16	26	11	168%
航空宇宙	売上高	38	40	2	104%
	営業利益	4	4	1	122%
合 計	売上高	821	830	8	101%
	営業利益	31	43	12	138%

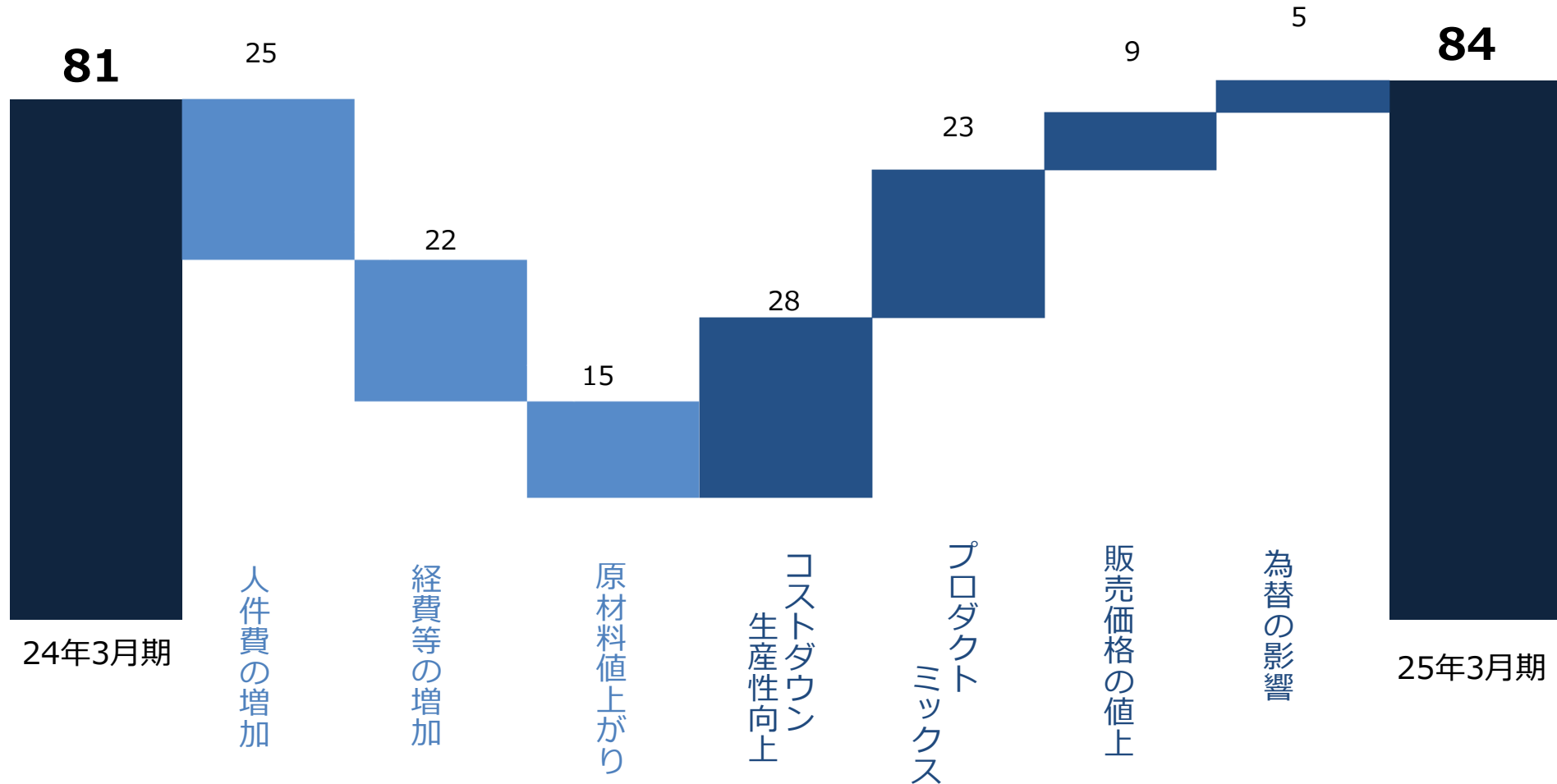
単位：億円

	24年3月期 実績	25年3月期 業績予想	前期対比	
売上高	1,670	1,670	—	100%
営業利益	81	84	3	104%
経常利益	138	123	▲15	89%
親会社純利益	75	70	▲5	93%

（平均実勢為替レート）

1 ドル	144.6円	150.0円
1 ユーロ	156.7円	161.5円

単位：億円

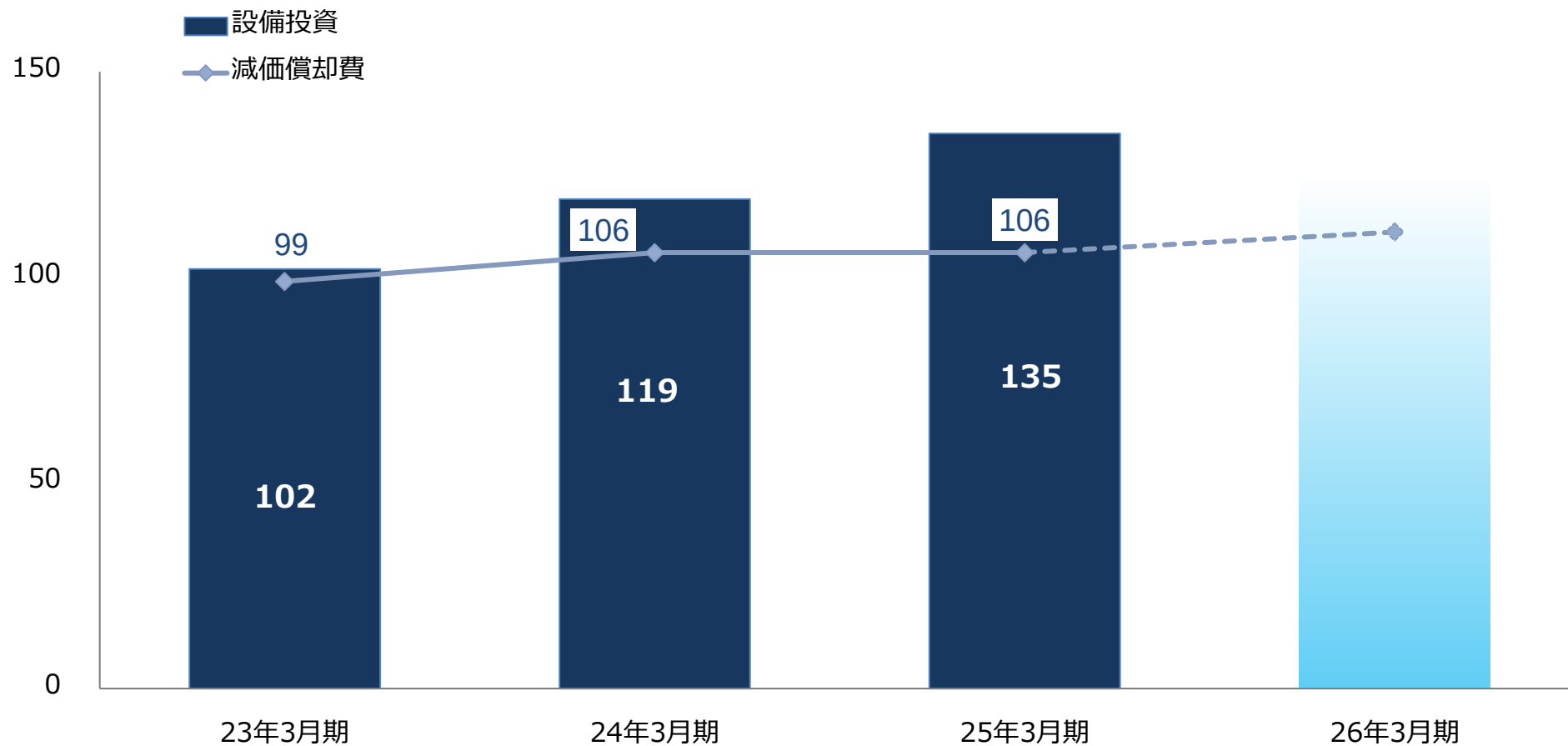


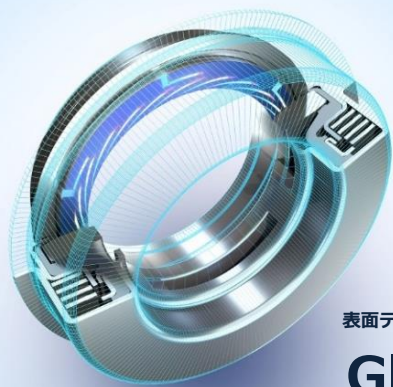
単位：億円

		24年3月期 実績	25年3月期 業績予想	増減	前期対比
自動車・建設機械	売上高	905	873	▲32	96%
	営業利益	16	15	▲1	93%
一般産業機械	売上高	385	409	24	106%
	営業利益	32	54	22	167%
半導体	売上高	151	130	▲21	86%
	営業利益	▲8	▲36	▲28	—
船用	売上高	150	168	18	112%
	営業利益	34	42	8	124%
航空宇宙	売上高	80	90	10	112%
	営業利益	6	9	3	144%
合 計	売上高	1,670	1,670	—	100%
	営業利益	81	84	3	104%

1. 25年3月期第2四半期決算概要と通期業績予想
2. 設備投資・株主還元・ESGの取り組み
3. 各セグメントの状況・今後の事業展開

単位：億円





表面テクスチャリングシール

GlideX™

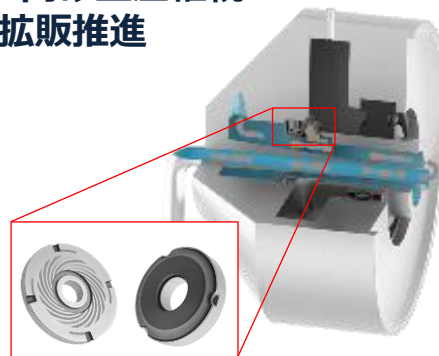
xEV

- 欧州自動車メーカー向け量産継続
- e-Axle向け製品の拡販推進



効率・電費向上

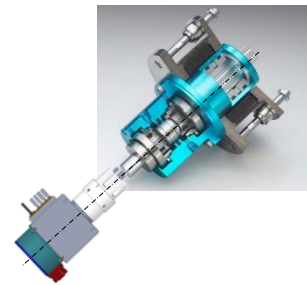
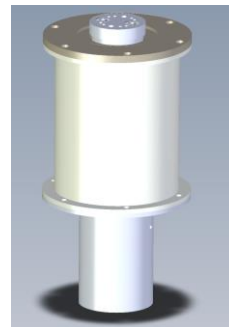
高速化対応



EVモーター冷却システム

半導体製造装置

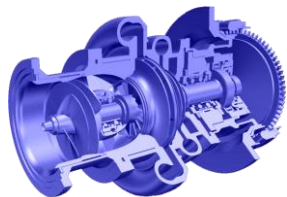
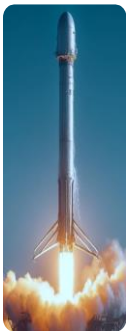
長寿命化



スリップリング一体型
ハイブリッドシール

再使用ロケット

長寿命化



再使用ロケット用
ターボポンプ

船舶・航空機向け 動力モーター

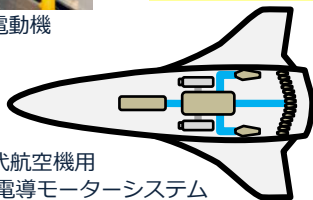


船舶用電動機

小型・軽量化

低動力損失

長寿命化



次世代航空機用
超電導モーターシステム

潮流・水力発電

環境負荷低減

低動力損失

長寿命化



潮流・水流発電機

水素エネルギー

高負荷対応

長寿命化



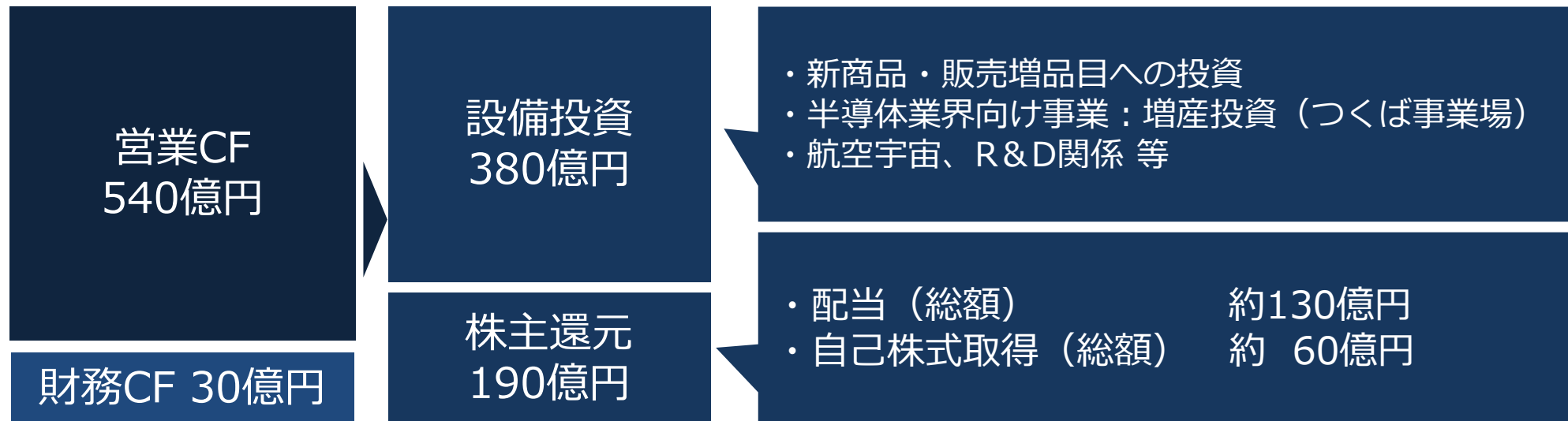
各種ポンプ・コンプレッサ用シール

資本コストと株価を意識した経営の実現に向けて諸施策を展開中であるものの、現時点において株価純資産倍率（PBR）は1倍を割っており、事業の改善に合わせ、更なるバランスシート改善のため、中期経営計画期間の株主還元方針を変更

- ・ **株主還元総額：総額180億円から総額190億円に変更**
- ・ **配 当 方 針：「年間80円以上」から「年間100円」に変更**
25年3月期：100円/株（通期）←90円/株
中間配当・期末配当予想も45円から50円に修正

併せて、今期自己株式の取得も実施（500千株・11億円（上限））
※政策保有株式の解消も継続して推進

Cash Flow (24年3月期～26年3月期)



- ・ 適切なバランスシート・自己資本比率の圧縮に向け株主還元拡大
- ・ 各事業の将来の販売拡大、新商品開発に向けた投資も継続

中期経営計画期間中の外部評価機関の結果と目標値

	24年3月期	25年3月期	26年3月期 (目標)
CDP (Climate Change)	B-	—	B 以上
FTSE Russell ESG Score	2.9	3.3	3.2 以上

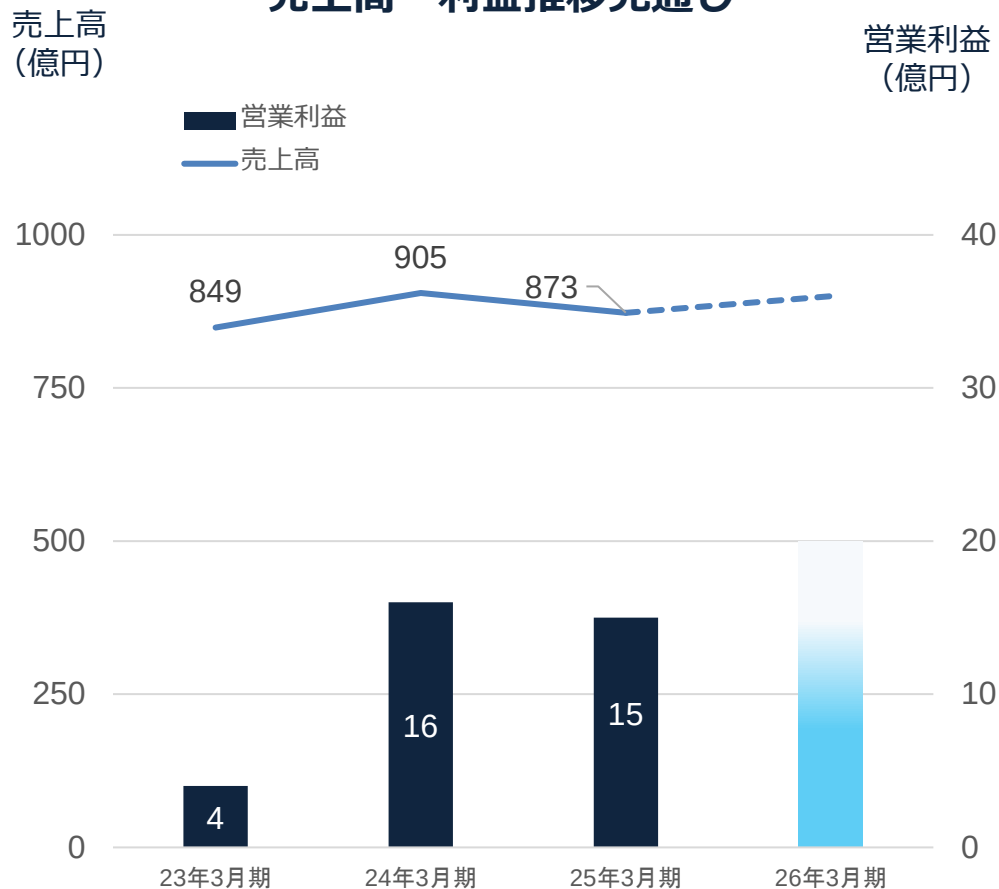
- CDP (Climate Change)
中期経営計画期間中にB以上の取得の見通し
- FTSE Russell ESG Score :
当期に3.3のレーティング取得
FTSE Blossom Japan Index June 2024のレビュー
に基づき、「FTSE Blossom Japan Index」に組入



**FTSE Blossom
Japan Index**

1. 25年3月期第2四半期決算概要と通期業績予想
2. 設備投資・株主還元・ESGの取り組み
3. 各セグメントの状況・今後の事業展開

自動車・建設機械業界向け事業の 売上高・利益推移見通し



EV市場の成長は減速しているものの、自動車補機の電動化も進行し既存主力製品の販売は減少傾向に変わりはない状況（ウォーターポンプシール、エアコンコンプレッサ用バルブ）

次世代の主力製品を選定し拡販に努める

次世代自動車向け拡販品目
(2030年度：200億円以上を目標)



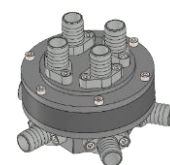
サスペンション用
バルブ



カーボン軸受

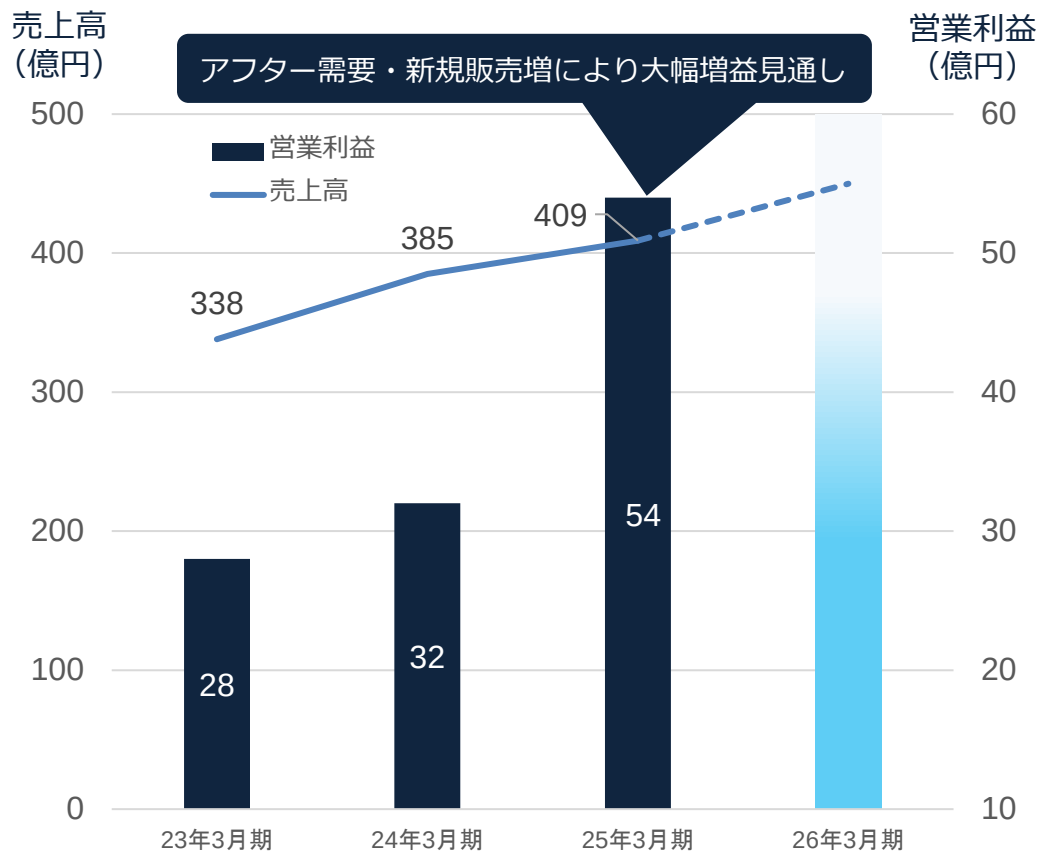


GlideX
(メカニカルシール)

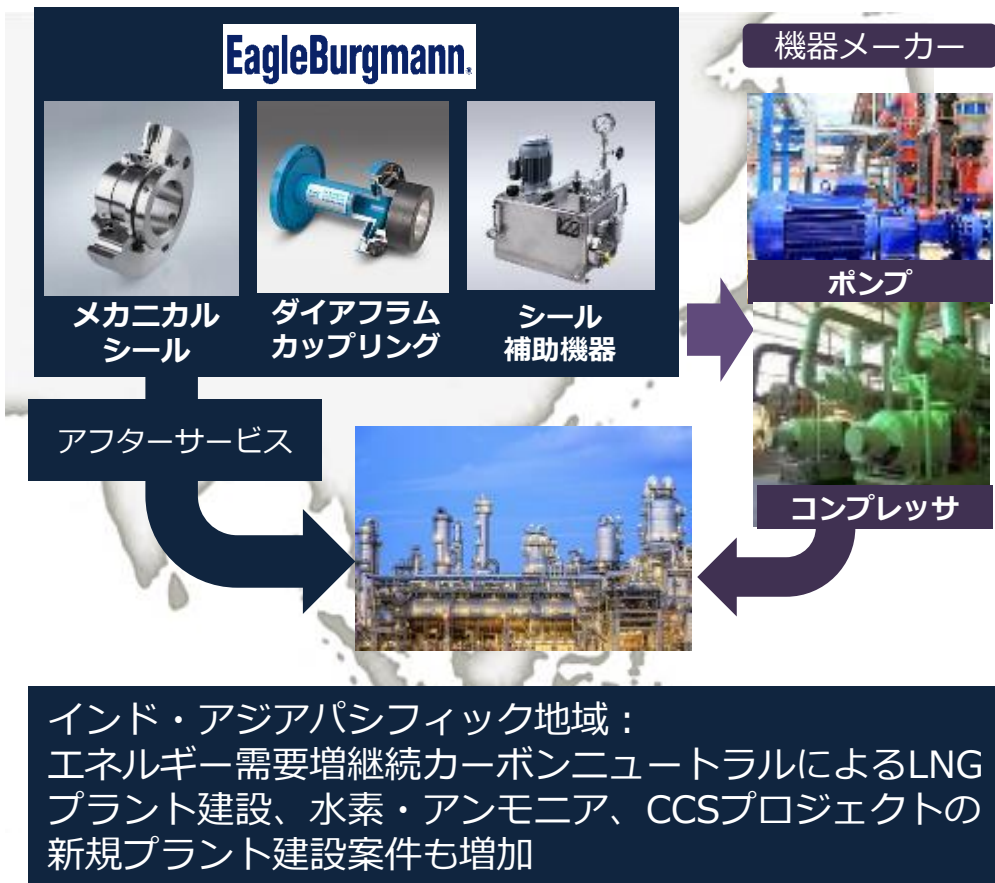


LLC切替弁

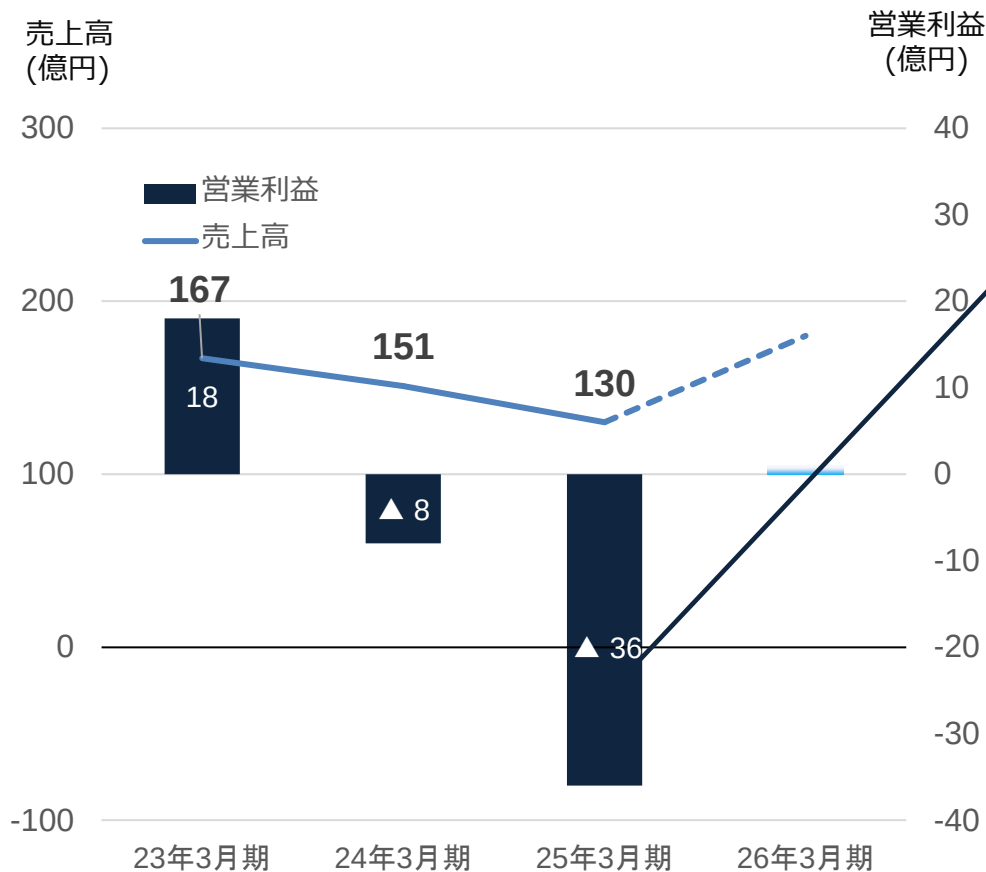
一般産業機械業界向け事業の売上高・利益推移見通し



一般産業機械業界向け事業のビジネスモデル



半導体業界向け事業の売上高・利益推移見通し

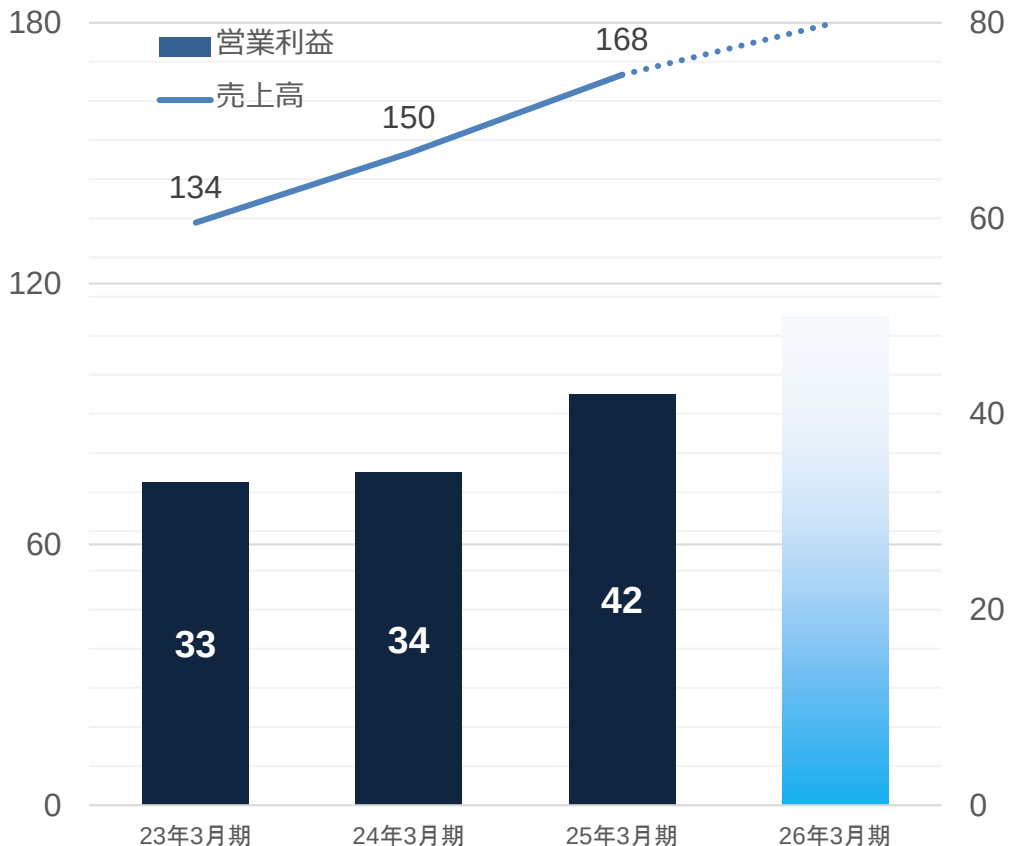


25年3月期は償却費・人員増に合わせ在庫調整と下期からの販売回復遅れが重なり営業損失が拡大

つくば事業場新棟は24年7月に竣工来期以降販売回復見通し



売上高



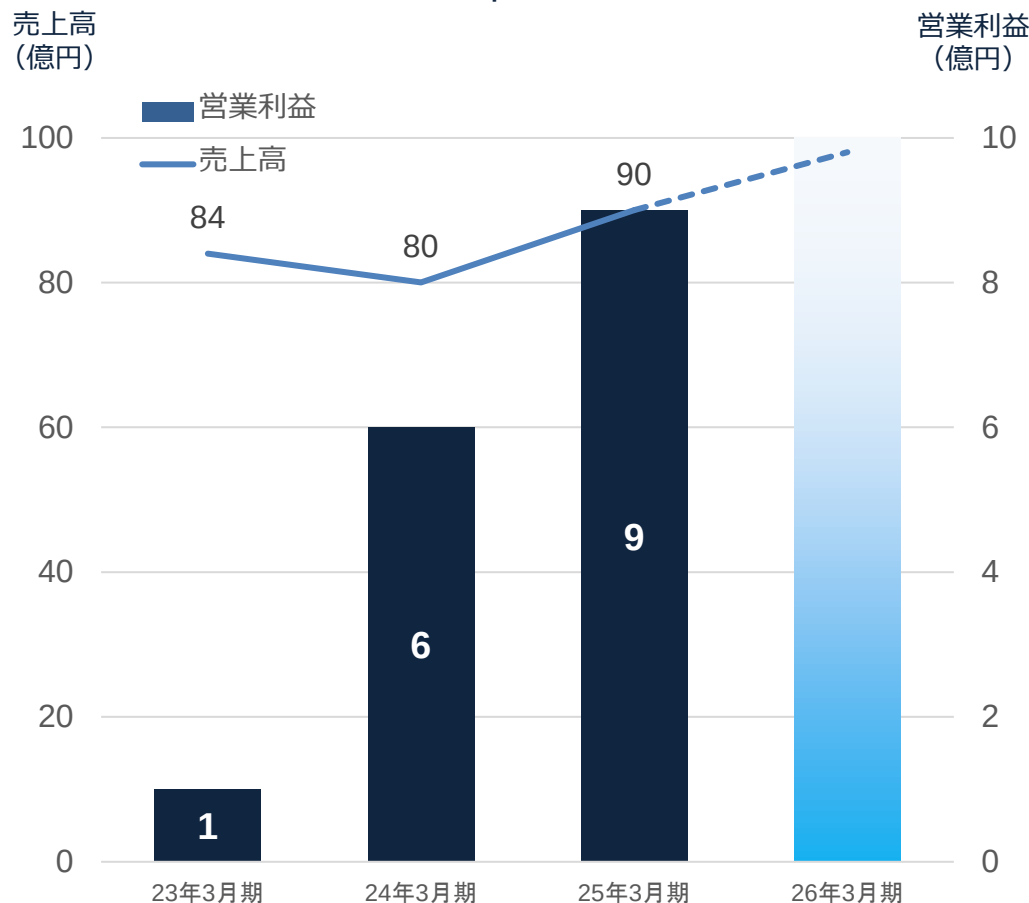
船用業界の現況と今後の事業動向

- ・ 25年3月期：新造船向け・アフターともに落ち込む見通しであったものの物流増加を背景に売上・利益ともに前期を上回る見通し
- ・ エネルギー需要増からLNG船等新造船分を随時受注

船用業界向け事業の主要製品



航空宇宙業界向け事業 | 売上高・利益推移見通し



・官民ともに航空機エンジン向けシール販売増加

民間航空機

- 欧州の次世代エンジン開発参画
- コロナ禍からの回復が進み単通路機を中心に需要が拡大
- 海外エンジンメーカーからの引き合い増加

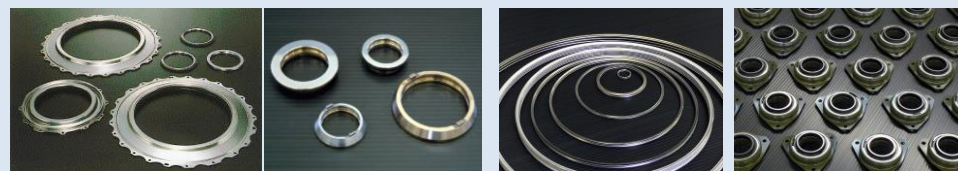


防衛関連

- 防衛関連製品の生産拡大
- 防衛生産基盤強化法の活用による生産性向上取組
- 次期戦闘機エンジンへの採用に向けて活動中

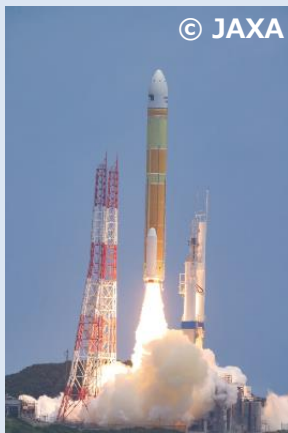


次期戦闘機イメージ
出典：防衛省ホームページ



1. 宇宙プロジェクトへの参画状況

- ・ 24年7月 H3ロケット3号機 打上げ：LE-9、LE-5B-3エンジンターボポンプなどにメカニカルシール等を納入
先進レーダー衛星「だいち4号」にタンク、バルブ、フィルターを納入
- ・ 24年9月 H-IIAロケット49号機 打上げ：LE-7、LE-5Bエンジンターボポンプなどにメカニカルシール等を納入



H3ロケット3号機



メカニカルシール、各種シール類



「だいち4号」



タンク、バルブ等



H-IIAロケット（写真は47号機）

国内外の民間ロケット会社や欧州地域のロケット開発にも参画中

2. 次世代航空機の開発参画状況

- ・ 水素燃料適用技術を活用した航空機や、次世代電動推進システム（電動モーター）開発などに参画

▶ 航空宇宙業界へ向けて当社固有のシールシステムの提供を今後も継続



Fly Sky High !